

## 【涉外関係】

### 1. 第13回新人宿泊研修会 教育事業

令和7年10月19日(土) 場所:ペンションきちむい(宜野座村)

新卒から3年目くらいまでを対象とした当会主催の新人宿泊研修会は、コロナの影響で宿泊を中止しており、久しぶりの宿泊研修となった。今年は横地会長がこのために来沖され参加した。新人・理事・学術などを含め50人ほどで研修を行った。横地会長からは技師会がもつ課題や、専門領域での多職種連携の重要性などを語られ、これから技師会のためにみんなで意見を出し合ってほしいと、新人へ熱いエールを贈られた。夜はBBQを行い、新人へ激励を込めてなした。国仲副会長や今泉理事の余興は盛り上がりを見せ、新人技師に楽しんでもらえた。参加者は多かったが、今回は宿泊者が少なかった。

宿泊研修の様子は取材を受けており『MTJ メディカルテストジャーナル』に掲載されている。(11月4日配信)



研修を終えて



横地会長の話に真剣に耳を傾ける 研修生

### 2. 第11回県民健康フェア(なごみ会主催) 公共事業

令和6年9月15日(日)…延期

令和6年11月17日

場所:沖縄コンベンションセンター

健康に対する意識を高めてもらおうと、県内の保健医療関係17団体でつくる県医療保健連合(なごみ会)が主催となり、毎年実施している県民健康フェアだが、今年度は台風来襲のため直前で延期となり11月の開催となった。延期によるやむを得ない告知不足と当日の雷雨により若干来場者は例年より少ない印象ではあったが、技師会ブースは活気もあり、人気があった。頸動脈エコーは毎年人気があり、長蛇の列になるため、予約券を配るなど工夫した。子供から高齢者まで楽しんでもらうことができ、健康への意識を高めることができた。再来年からは物価や会場費の高騰に伴い『うりづんフェスタ』と同時開催となるため、次年度が最後の沖縄コンベンションセンターでの開催となる予定である。

## 第1号議案 令和6年度報告（涉外）



### 3. 全国「検査と健康展」in 南風原 2024 公共事業

開催日時：令和6年11月24日(日) 10:00～15:00

開催場所：イオン南風原ショッピングセンター

イオン南風原ショッピングセンターにて全国「検査と健康展」を昨年に続き開催することができた。今年度は新聞告知等を行わなかったためか通年より若干少なめではあったが、沢山の方々に来場して頂いた。アニメ『はたらく細胞』の影響か、小さな子供たちからマクロファージやT細胞などの発言もあり、鋭い質問にスタッフがたじたじとなる場面も見られた。昨年の進路相談コーナーは高校生や中学生が中心であったが、今年度は数名の小学生親子が臨床検査技師になるためにはどうしたらいいのかと真剣に話を聞いている姿も見られた。今回は嬉しいことに、ボランティアとして琉球大学の1年生から3年生の5人の学生が参加してくれた。学生には実際に接客・検査説明などをやってもらったが一生懸命取り組んでいる姿は学生と思えないほど素晴らしい、数年後に一緒に仕事ができるのが楽しみである。人気のある血液・病理細胞の顕微鏡もさることながら、一般で展示した寄生虫ブースも常に人が途切れず、今年はどのブースも大盛況であった。骨密度検査は223名の方に参加していただいた。今回は会場の都合でステージが残った状態であったため、会場が狭く運用に難渋するブースもあったが、次回の課題とする。



#### 4. サイエンスティックフェス 公共事業

- ・ in イオンモールライカム 令和6年9月28日(土) 10:00~16:30 来場者数 7,708人(推計)
- ・ in 那覇メインプレイス 令和6年12月15日(日) 10:00~16:30 来場者数 1,368(推計)
- ・ in 北部 令和7年2月9日(日) 場所:本部町民体育館アリーナ 来場者数 693人

この企画は沖縄県企画部科学技術振興課が主催、沖縄県教育委員会が後援する事業で昨年度も沖縄県公衆衛生協会が実施したイベントである。未就学児童から高校生までの成長段階に応じた科学体験プログラムを実施し、科学技術への興味・関心や科学的思考の向上に繋げる取組を創出することで、将来の沖縄県の科学技術、産業の振興を担う科学技術人材の育成に寄与することを目的としている。今年度も沖縄県公衆衛生協会から声をかけていただき、離島を除くすべてのサイエンスティックフェスに参加することができた。県が主催とあって来場者数も桁外れだが、当会のブースは常に大人気で足の踏み場もないほどであった。当会ブースでは血液型の検査体験や寄生虫、顕微鏡でのミクロの世界体験などを中心に行なったが、那覇メインプレイスでは顕微鏡を2台に増機し、病理細胞と血液細胞を同時に展開したがかなりの人気で長蛇の列となった。血液型体験も人気で用意していた400テストの試薬が足りなくなるほどであった。in 北部では、北部の技師が中心となって企画し細菌培地や乳び血清など視覚で子供でもすんなりと楽しめるように工夫し人気を博していた。当ブースに配置された高校生ボランティアも常に頑張ってくれており、検査説明まで高校生が行った。

この事業ではかなりの数の親子に検査体験をしてもらうことができた。反応も上場で臨床検査技師についてかなり認知度を上げることができたと感じている。



**5. 令和6年度 沖縄県臨床検査技師会主催リーダー育成研修会 日臨技推進事業**

令和7年2月2日(日) 場所:友愛医療センター

日臨技が推進している地域リーダー育成研修会だが、沖縄県では2回目を開催することができた。

午前中は日臨技から横地会長のビデオ講義を行い、深澤恵治専務理から事直々に「日本臨床衛生検査技師会、都道府県臨床検査技師会の事業活動について」の講義を行い、午後から Management Target Setting のグループワークを実施した。直接日臨技の関係者から現在の社会情勢・医療情勢を聞けて刺激になったなど参加者からの感想があった。グループワークに関しては運営側が予測出来なかった意見や発想が出てきて、我々が勉強になるほどであった。これからのリーダー達の活躍に期待が高まる。

**6. 令和6年 沖臨技新年祝賀会・表彰式 恒例事業**

令和7年1月26日(日) 場所:ノボテル沖縄那覇

沖縄県臨床検査技師会の恒例行事となる新年祝賀会だが、今回は表彰者がおらず残念であった。しかし沢山の方に参加して頂くことができた。今回は衆議院議員の宮崎氏や浦添市長の松本氏が急遽参加してくれるなど、連盟活動が実を結び、臨床検査技師の認知度が高まった印象の強い祝賀会となった。表彰式がなかったが技師会の大先輩OBの言葉を頂き、琉球民謡協会の上江洲みやさんの民謡や国仲理事の空手演武など参加した皆様には楽しんでいただけた。